

活発になる経済

1880(明治13)年に工場払下概則が制定され、明治政府によって設立された多くの事業が、次々と一般の会社へと移って行った。明治政府は、補助金や、産業を興すための資本金を貸し出すなど、民間の企業を育てていった。



明治政府は、民間企業を育てて、殖産興業の政策を進めようとしたんだね！

<会社が誕生した>

製糸(生糸をつくる)、紡績(糸をつむぐ)、造船(船をつくる)、鉱山(鉱物を採掘する)などの国中心ではじまった多くの事業が、次々に政商とよばれる資本家に売り渡されて、会社という組織が生まれた。



富岡製糸場
1872(明治5)年、群馬県富岡に設立された国営の製糸工場。1893(明治26)年に、江戸時代の豪商から発展した資本家の三井に売り渡された。

株式会社が生まれた

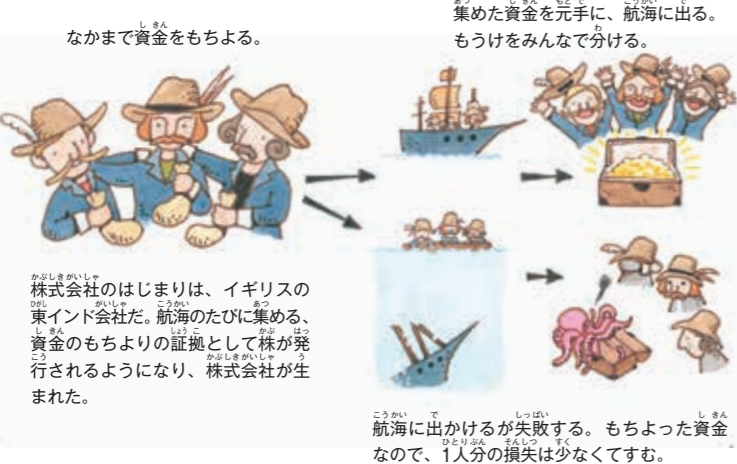
西洋の近代産業や財政制度を学んだ渋沢栄一(→p.91)によって、日本で最初の株式会社がつくられた。株式会社とは、「多くの人からお金を集めて会社をつくれれば、鉄道でも機械でも、個人ではできないものをつくったり買ったりできる」という西洋の会社のしくみをまねたもので、渋沢が日本ではじめて実行した。このしくみのおかげで、日本の資本主義経済は大きく発展した。



証拠として株を発行した

株式会社の株とは、お金をだしてもらった証拠として発行する証券のことで、この株は出資金額の個人差を証明することができた。たとえば、1万円を出資した人には証券1枚を発行し、2万円を出資した人には証券2枚を発行する。すると、手持ちの証券の枚数に比例して利益を分配することができるので、出資者は出資額に応じて利益を受け取ることもできた。

会社の起こりを見てみよう！



株式会社の始まりは、イギリスの東インド会社だ。航海のために集める、資金のもちよりの証拠として株が発行されるようになり、株式会社が生まれた。

航海に出かけるが失敗する。もちよった資金なので、1人分の損失は少なくてすむ。

政商ってなあに？

政商とは、政治家と深くむすびついてもうける商人たちのことで、政治に力をおよぼした。とくに、幕末から明治政府に協力してきた商人たちは、国の事業の売り渡しを受けたり、財政的な援助を受けたりして、大資本家に成長した。政商には、軍需産業によって資本を貯めるものも多く、大正、昭和にかけて財閥へと成長していった。



日本初の株式会社は銀行

日本ではじめてつくられた株式会社は、1873(明治6)年設立の第一国立銀行(→p.90)だ。渋沢栄一が中心となり、江戸時代に両替屋をしていた三井組と小野組がもとになって設立された。

第一国立銀行
アメリカの銀行制度をまねてつくられた。名前は「国立」でも民営の会社。



いろいろな会社が生れた

日本に銀行制度(→p.90)が誕生し、第一国立銀行をはじめとする、たくさんの民間銀行が設立された。そして、個人や会社への資金の貸し出しがはじまり、たくさんの会社が設立された。

●問屋や小売店が会社になった

日本橋の地域は、江戸時代から商業の中心地で、たくさん問屋や小売店が集まっていた。明治になると、これらの店の多くが会社へと変化していった。1904(明治37)年、三井呉服店が株式会社になった(→p.92)。



1904(明治37)年、株式会社になったころの三井呉服店。

●株を取り引きした

1878(明治11)年、兜町に東京株式取引所が設立された。株を売ったり買ったりして、利益を得ようとする人が出てきたため、株を取り引きするための取引所が設立された。

さらに兜町には銀行も多く、日本経済の中心地として発展していった。東京株式取引所は、現在の東京証券取引所の前身。



1881(明治14)年ころの東京株式取引所。手前の橋は鐘橋。



明治初期の株取り引きのようす。

●米を取り引きした

1874(明治7)年、麩穀町に中外商行会社が設立された。先物取引を行うための市場として設立された。中外商行会社は、その後、東京穀物商品取引所になり、2013(平成25)年2月に東京商品取引所に合併された。

米など、収穫がまだ商品が手もとにないものでも、商品が届くものとしてする取り引きを先物取引引きというのよ。



麩穀町に建てられた中外商行会社。東京名所の1つとして錦絵にえがかれた。



問屋ってなあに？

中央区日本橋には現在もたくさんの問屋がある。あつかう商品は、生活雑貨や食品、衣類など、その種類はさまざま。商品が消費者であるわたしたちの手もとに届くまでの流れを、洋服を例にして見てみよう。



生産者・製造会社
商品を生産する。



問屋
生産者や輸入業者などから、まとめて仕入れた商品を生産する。



小売店
問屋などから仕入れた商品を生産する。



消費者
小売店に出かけて買って、商品を買う。

最近ではインターネットなどによる、「生産者→消費者」といった直接取り引きの流通経路もある。その場合、問屋は通さない。

日本橋区、京橋区の誕生

1878(明治11)年、東京ではそれまでの大区・小区制(→p.124)が廃止され、新しく15区制がはじまった。このとき、日本橋区、京橋区が生まれた。

